



11月号

平成6年11月1日
発行／編集
岡崎市教育委員会

太陽と山水の恵みを受けて
餅の実は

ふっくらばんと 稲穂をつくる

生きている

そう 生きている

日照りつづきの 酷暑のなかで

それでも 命を育んだ

その餅の実は

声もなく 自己主張の刺もなく

共にひとつの稲穂をつくる

ありがとう

その尊さに ありがとう

秦梨の一〇五粒の餅の実も

いま ひっそりと

たくましく 生きている

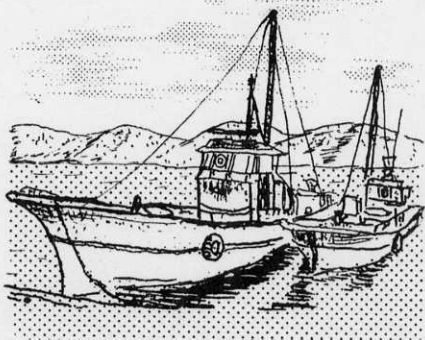
〈餅の実〉



(ぼくらの友達 - 秦梨小)

編集者のご依頼をお受けしたので、教育誌には私が全く場違いの人間であることを承知の上で、おこがましくも一文を草することをお許し願いたい。

私は、戦後になって長年の戦地勤務から満身創痍の身で復員して定職がなかったころ、たまたま上級学校で専念した研究分野を思い起こして、



— 教育随想 —

英語語用論 をめぐって



米国言語学博士
八田 重雄

無意識のうちに身につけた、さまざまな文脈に対応したことば使用の原則を、多面的に実例を収集し整理して体系化したものである。

文部省の英語学習指導要領では、オーラルコミュニケーションと称している。

しかし、前述のように無意識のうちに習得した日本語のことば使用要

「四十？の手習い」よろしく、そのテーマで独学で論文を書き続けていた。昭和四十四年に一か年の国外研究

にでかけたとき、思いがけなく先方の大学でその論文が認められ、私の学位論文作成のきっかけとなった。私の論文の要点は、いづれの言語であれ、「話す・書く」とともに、使用者が幼時から日常の言語行為で全く

領を英語の学習に意識的に応用しようとしたら、どうなるか。私は全く気の遠くなる思いをしたことがある。

確かに、「母語の本来の姿は誰にも」絶対的実用性」がある。では、文部省は日本人の日常生活で英語の使用が一般化していると想定したのであるうか。とんでもない。日本人の社会では、外国語は限られた一部の人の々

以外には全く無用である。つまり、一般日本人にとって英語は「相対的実用性」があるにすぎない。第一、「英語」が中学・高校ともに選択教科である所以はここにあるのであろう。

さて、私は数次の国外研究中に、先方大学の教授連の家庭でかなり長期に亘って、家族の間や来客との間のことば使用を実録して、話題、会話対象、場面などによって整理・分析した。

もちろん、ことば使用の原則は、いづれの言語でも大同小異であると割り切った人がある。しかし、真の口頭相互伝達行為の場面では、適切な語いや慣用的言い回し、特にフアティック (phatic) な言語使用、ストレス、リズム、イントネーションなどの選択といったさまざまな面で、日本の学校英語は完全に手上げである。

しかし、前述のように日本の社会は日常では英語を必要としないから、学問を志す人と一般社会人とは、学校英語の学習は相対的実用性による分業でよいと思う。なぜなら、依然として目学問一辺倒の入試があるからである。

(はった しげお)



登校拒否への対応

新香山中学校長

長谷川四郎

全国的に登校拒否の児童・生徒が増加の一途を辿っていることは誠に由々しい問題である。私たち教師は、登校拒否に対する共通理解を十分にもって対応していかなければならない。

登校拒否になる原因は、一人一人さまざまである。ただ、「どの子供も登校拒否を起こす要因をもって」ということ、「直接のきっかけが学校にある」ということを忘れてはいけない。

登校拒否への対応として、次の三つが大切である。①初期の段階の適切な対応、②学級経営の創意工夫、③全校体制による取り組みである。

①については、登校拒否の原因が一人一人皆違っており、家庭に問題がある場合、あるいは友人関係の歪みに起因している場合など、多面に亘っている。従って、その原因を究

ふるさとシリーズ この人に聞く



プロフェツシヨナル

フライ・フィツシヤ

杉坂 隆久 氏

大変お忙しくて、数日前に海外から戻ったばかりだという氏を大平町の自宅兼ショップ(F・Hスギサカ)に訪ね、お話を伺った。

最近では、アウトドアがブームで、「フライ・フィツシング」という名も時々耳にするようになった。そして、その「フライ・フィツシング」とは何、また、その魅力とは、という素朴な質問に答えていただくことから話が始めた。

「フライとは、擬似餌(毛針)のことで、鳥の羽などを細工して、カ

ゲロウなどの形に似せたものを針に付けます。そして、それを川面に滑らせたり、時には水中に沈めたりして、魚を誘うわけです。魚が餌に飛びつく瞬間が見え、とてもスリリングだし、また、釣り上げるタイミングが難しいというのも魅力ですね。」

子供のころから親について釣りをしてきたという杉坂さん。そんな杉坂さんも、岐阜県高山の近くの溪流でイワナ、ヤマメ、アマゴなどをフライで釣り上げてからは、その面白さに魅せられてフライ一筋だという。

「始めたころは国産の良い道具が少なかったですね。それで、自宅庭の十二畳ほどの物置を仕事場にしたり、釣り竿のデザインをし、それを作って釣りショップに売ったりしていました。そして、その後は針や他の材料も置くようになったんですが、自然に仲間がたくさん集まってくるようになったんです。そのうち、物置では手狭になってきたので、今のところへ移ることにになりました。」

店での小売りはもちろんのこと、雑誌の連載のための執筆、講習会、テクニクを収録するビデオ撮りのための旅行、そして、競技会。とて

も忙しい杉坂さんではあるが、三年ほど前から、北海道の滝上町の町興こしの相談役もなさっておられて、「滝上町をフライ・フィツシングで活性化できたらいいですね。そして、釣り上げた魚を殺さずに、川に戻してやるという、「キャッチアンドリリース」を定着させたいですね。」

と、抱負を語っていただいた。その表情からは、第一人者としての自信と自信を読み取ることができた。

氏 名 すぎさか たかひさ

生年月日 昭和三十一年二月十日

住 所 大平町回り戸二十四の三



明しなれば、対応策を講ずることは難しいのである。その原因がはっきりすれば、適切な対応もできるというものである。

②については、思いやりのある温かい学級、創意工夫による楽しい学級づくりが望まれる。分かる授業への実践、特に、道徳授業を通しての社会性自立心などの育成も大事ではないかと思われる。

③については、担任だけに任せておくのではなく、全校体制で取り組んでいくことが肝要である。役割を分担し、家庭や専門機関との連携を緊密にしていきたいものである。

登校拒否の対応は、粘り強く取り組んでいく以外にない。ただ、登校拒否の子供は、心の安らぐ居場所や心のつながりを求めていることも忘れてはならない。

本校T男は、一年生のとき登校拒否であったが、二年生からは元気に登校できるようになった。彼は、登校できるようになった理由として、「先生や友人から励ましの言葉をもたらったから。」と言っている。

登校拒否の子供には、心のメッセージを届けるとともに、一人一人の子供に光を当て、励ましていきたいものである。

利用される矢作川河川敷

① サッカー

矢作川は、西三河の人々のふるさとの川として親しまれている。岡崎市内を細川町から合歓木町まで、約十七キロにわたって流れる矢作川の広々とした河川敷が、身近なレクリエーションや憩いの場として大いに利用されている。

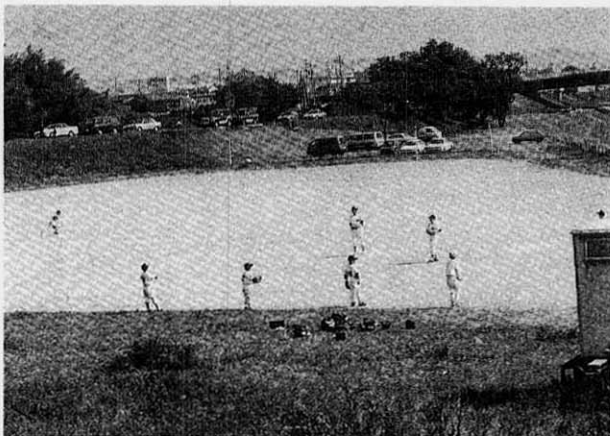
現在は、ソフトボールやサッカー、ラジコン、モトクロス、グライダー飛行、ゲートボール、バーベキュー等に使われている。また、矢作中学校は毎年、河川美化を兼ねて砂の芸術のアースワークを行っている。

なお、岡崎市が占用しているのは、仁木、大門、日名橋、渡橋、美矢井橋の五か所の河川緑地である。これらを利用する場合は、市の許可を要する。市の占用地以外は建設省が管理している、利用する人々に、ごみを捨てないよう、また、危険なのでゴルフの練習を遠慮するよう呼びかけている。

現在、岡崎市が占用しているのは、仁木、大門、日名橋、渡橋、美矢井橋の五か所の河川緑地である。これらを利用する場合は、市の許可を要する。市の占用地以外は建設省が管理している、利用する人々に、ごみを捨てないよう、また、危険なのでゴルフの練習を遠慮するよう呼びかけている。



② ラジコン (飛行機)



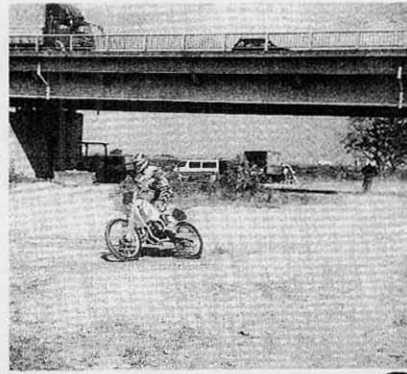
④ ソフトボール



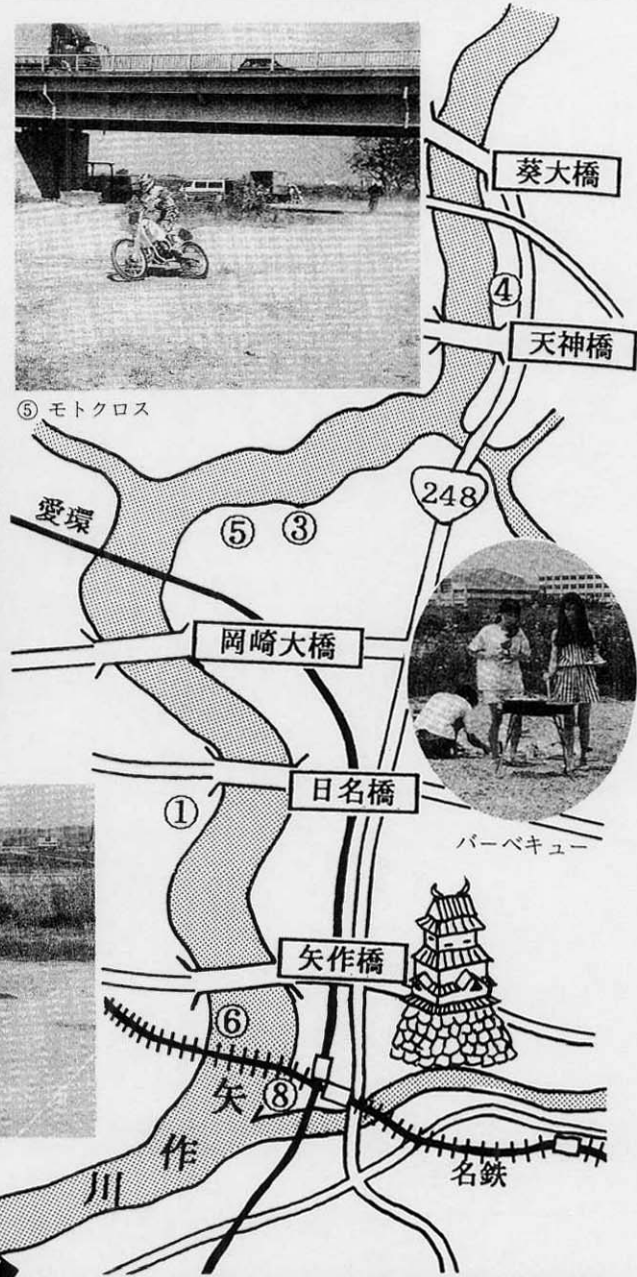
③ ラジコン (自動車)



⑥ アースワーク



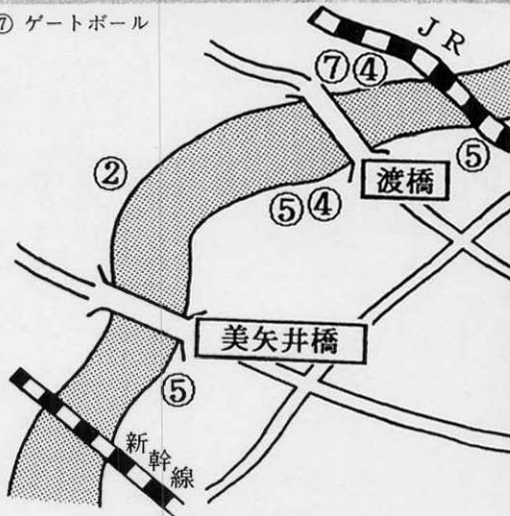
⑤ モトクロス



バーベキュー



⑦ ゲートボール



⑧ グライダー

ふれあい

空き缶ボーリング大会

奥殿小学校

稲垣 幸一

「今回のチャンピオンは、〇〇君です。敢闘賞は、〇〇さんです。」

これは、学級ギネス「空き缶ボーリング大会」での表彰式の一コマである。

V S 活動（ボランテニア活動）によって、登下校中に拾い集められた空き缶を前にして、

「回収業者に引き渡す前に、このたくさんのお空き缶を利用して、学級ギネス大会のようなことができないかな。」と、K男が提案した。

「V S 活動で二倍楽しむ方法を考えてみるのもいい。」と、彼らの発想に期待した私。

こうして、空き缶を利用した一連の「学級ギネス大会」が計画され、これまでに「空き缶積み」「空き缶釣り」「空

き缶神経衰弱」、そして今回の「空き缶ボーリング大会」の開催となったのである。

大会当日、

「学区もきれいになり、自分たちも楽しめて、最高！」と、空き缶拾いを、クラスで

一番がんばったK男と私との対決は、見事なストライクを連続した彼の圧倒的勝利に終わった。

「V S 活動に真剣に取り組んでいる者の強みだ。」

と、日頃は消極的なK男が上機嫌ではしゃぐ。

「よし、次回は負けないように、V S 活動に全力投球だ。」

と私。また、V S 活動を通しての新たな挑戦が始まった。



師弟同行

個性を生かして

竜南中学校

太田 恭子

最近、「個性」という言葉が流行語のようになっていきます。

けれど、鳴田校長先生ほど様々な個性の生かし方をされる人に出会ったことはありません。

開校十年目を迎えた上地小学校は、活気に満ち溢れています。

地域教材の発掘があり、「校歌」の作詞から、「虎と竜」「上地の空襲」などの創作童話まで、すべて校長先生の手作りでした。

すると、創作童話を体育のダンスに取り入れる、学区の歴史を調べる、石碑の拓本を書写に生かすなど、それぞれの先生が自分の得意なことです。

手作りする授業を始めたのです。刺激を受けた私も、「算数と地域学習」のテーマでスタ



ートしました。上地学区の特徴を統計グラフに表す、「上地八景」のマークを拡大するなど、子供たちと楽しみながら学習を進め、学級づくりにも役立ちました。

あのとときの「算数でもできますね」という校長先生の一言には重みを感じます。

こうして、ごく自然に、しかし、的確に職員一人一人を生かしていただきました。先生その教えが今の私の原動力となっています。

目標にされるように

前上地小学校長

嶋田 稔

根を養えば木は育つ。地域に根を下ろさない学校は「根なし草」になる。

こんな考えで、地域教材を取り上げたが、新しい学区には、いい教材がない。ないか

ら諦めて止めておくか、なかったら創り出すか、ここが研究の分かれ道であろう。

太田先生は、すぐに「算数と地域学習」という至難な課題に取り組み、大胆な発想と子供主体のダイナミックな活動を展開した。

こういう実践は例がなく、驚いたり敬服したりしたものである。

また、常に課題をもち、新任以来、毎年研究論文をまとめるという自分を課している。言うは易いが並大抵の精進ではない。

上地小学校には、このようにエネルギーに溢れた人が大勢いて、「機関車」となって活気に満ちた学級づくりを進めてくれた。

自分の非力と、時間切れでできなかったことを、松原教頭先生、太田先生はじめ多くの職員がやってくれて、今、感謝するのみである。

この上は、さらに大勢の人から「あのような先生になりたい」と目標にされるようになってほしいと願う。

お知らせ



◆全国中学校選抜体育大会

出場者

- ・バスケットボール男子
- 五位 城北中学校
- ・相撲 東海中学校
- ・ソフトテニス男子 矢作中学校
- ・バレーボール女子 矢作北中学校
- ・相撲 東海中 片桐 裕策
- ・陸上男子共通四百M 南中 内田 晶崇
- 六北中 山添 元樹
- ・陸上男子共通走高跳 常磐中 杉江 浩一
- ・陸上女子共通百M 陸南中 鈴木 智実
- ・陸上女子共通百MH 三位 葵 中 加藤 友里
- 七位 矢北中 竹山かおり

・陸上女子共通二百M

優勝 竜南中 鈴木 智実

・陸上女子共通八百M

矢北中 木村 豊美

・陸上女子共通三種競技B

優勝 葵 中 加藤 友里

◆日本カヌーレーシング

ジュニア選手権大会

・カナデアアンシングル

優勝 新香山中 吉岡 知洋

・カヤックシングル

四位 新香山中 田島 弘之

七位 新香山中 土屋 知成

九位 新香山中 藤村 健司

四位 新香山中 城殿 真代

五位 新香山中 南場 智恵

六位 新香山中 渡部麻希子

七位 新香山中 鈴木 佐織

九位 新香山中 片山ゆかり

◆学校関係緑化コンクール

小学校特選 緑丘小学校

小学校入選 竜谷小学校

中学校入選 新香山中学校

◆明るい選挙啓発ポスター

村井 美沙 六年 連尺小

白井 順也 六年 連尺小

市川沙也子 六年 城南小

砂田 裕美 三年 竜海中

藤野智加子 三年 竜海中

倉田 明子 3年 六北中

◆健康優良児童生徒

優秀賞

鈴木秀路 広幡 富田光穂 連尺

秋田 豊連尺 松平有加 六名

鈴木浩幹 根石 鈴木美緒 福岡

時吉克樹 六南 柴田弓恵 六南

岩本 良常東 兵藤有希 矢南

大山祐人 岩津 岡田佳子 城北

成田智英 矢作 太田洋子 美川

山添元樹 六北 八木紀子 竜海

中根明宏 南 阿部恵里子 六北

若林 悟 竜海 岡本由美子 矢北

◆よい歯の児童生徒

優秀賞

堤 史明 矢北 西浦加奈 矢北

加藤健太 井田 木村美穂 福岡

松本文久 根石 曾我仁美 六名

柴田幸典 愛宕 小林麻衣子 井田

青山剛士 大樹寺 佃 亜美 大樹寺

綾田 守甲山 山崎奈津子 竜海

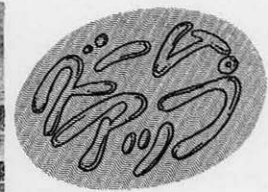
山田直也 矢作 牧瀬えりか 甲山

小林孝輔 六北 中根由美恵 葵

杉原寛尚 竜海 岡本由美子 矢北

山本敏生 福岡 野田綾子 六北

讚井敬三 新香山



小幡広

自然館は、幾種類かの淡水魚や熱帯魚の水槽、動植物の化石、虫の写真資料、自然科学の書籍などが備えられ、子供たちの科学の心を育てる学習センターとなっている。





石川昌文氏蔵

寺子屋の机

素朴なこの机は、縦二十九・五センチ、横五十一センチ、高さ二十三センチメートル。江戸時代中期から明治時代初期に小美町の寺子屋(順正寺)で使われていた机である。

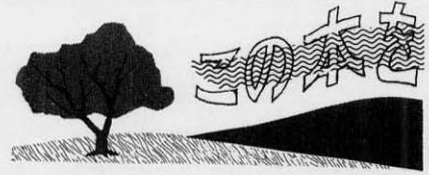
寺子屋は、近世に生み出された独特の庶民の教育機関である。手習いが中心となっていたが、ただ単に字を上手に書くということにとどまらず、さまざまな知識や技術を身につけ、生活に生かすことをねらいとした教育機関である。

『岡崎市史』に記載されている

「愛知県寺子屋一覽」によると、市内の寺子屋数は二百六校をあげているが、実際には岡崎城下域内だけでなく村落部に一村一か所を数えるほど存在し、もっと多かつたであろうと記されている。この机を前にすると、何となく背筋が伸びる。文字を書くのにちょうど良い高さで、姿勢を正される。児童・生徒の腹筋・背筋力の低下が指摘されている現在のこの座机の価値を見直したいものである。

・表紙写真
・表紙詩
・カット

秦梨小 加藤 浩
秦梨小 鈴木 忠好
六北中 山崎 孝博



- | | |
|-------------|-------------|
| *子どもの歌を語る | 山住 正己 |
| 岩波書店 | ¥ 650 |
| *人間 出会いの研究 | 小島 直記 |
| 新潮社 | ¥1300 |
| *父から息子へ | チェスター フィールド |
| 三笠書房 | ¥2000 |
| *自閉症だったわたしへ | ドナ ウィリアムズ |
| 新潮社 | ¥2000 |

オニアザミの花の中にいる虫を餌にして魚釣りをしている子供がいた。今どき珍しい。誰から教わったのだろう。釣り糸を垂らすと、間もなくオイカワが釣れた。隣で釣っていた釣り仲間二人がすぐにあつたが、すぐ釣り上げた。

心底から好きなことを生業とすることの喜び。杉坂さんを取材したときの実感である。

趣味を持つ人は多いが、それで生計を立てるとなると、二の足を踏んでしまうだろう。それ故、「趣味と実益」を兼ねた生活に憧れるのかもしれない。

オアシス

朝早く、矢作川河川敷でゴルフの練習をしているのを見た。「ゴルフは遠慮してください」と書いた立て札の横で行っていた。これから、ますます河川環境の整備が行われ、河川敷の使用は多くなっていく。それだけに、利用者のマナーがさらに問われる。

墨の跡の残る寺子屋の机で筆をとってみた。子供のころ、集会所に町の小学生が集まり、そろばんや習字をみんなで習っていたことを思い出す。同じ高さであったように思う。いつの間にかいすに代わり、正座をするような生活はほとんど見られなくなった。

- ※想像力
一創造の泉をさぐる一 内田 伸子
講談社 ¥ 650
- 日頃安易に用いている言葉「想像力」であるが、その奥深さ、複雑さに驚く。発達心理学、認知心理学専攻の著者が人間の日々の営みや活動において想像力がどのように働くのかを説き明かす。想像力とは何か。そのメカニズムは。言葉の発達と想像力の発達の関連、日常の語らいの中の想像力、描画活動と想像力、創造的想像力の育成など、専門的裏付けや具体的資料を引用して考察する。学習指導の基本として示唆に富む。